参考

風水害から身を守る

対策の基本は マップの確認と 早めの避難！

台風や豪雨は予測できるので、早めに避難することができます。
風水害から身を守るために、日頃から
❶ハザードマップの確認
❷避難方法の確認
❸情報収集方法の確認　をしましょう!

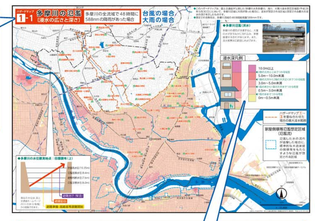
❶ ハザードマップの確認

ハザードマップのチェックポイント

ハザードマップの種類

- ハザードマップ 1 多摩川の氾濫
- ハザードマップ 2 高潮の被害
- ハザードマップ 3 中小河川等の氾濫

このマップでは上記の３つの場合を想定して、それぞれのケースでハザードマップが作られています。



凡例
被害の大きさは色分けされています。お住まいの地域が何色か確認してみましょう！

気象とハザードマップ

一言に風水害といっても、台風や大雨、集中豪雨など気象状況によって必要となる情報、ハザードマップは異なります。
気象に合わせて、掲載している３種類のハザードマップから、最適なものを選択・確認しましょう。

台風の場合
チェックするハザードマップ(例)
ハザードマップ 1 多摩川の氾濫　ハザードマップ 2 高潮の被害　ハザードマップ 3 中小河川等の氾濫

大雨の場合
チェックするハザードマップ(例)
ハザードマップ 1 多摩川の氾濫　ハザードマップ 2 高潮の被害　ハザードマップ 3 中小河川等の氾濫

集中豪雨(ゲリラ豪雨)の場合
チェックするハザードマップ(例)
ハザードマップ 1 多摩川の氾濫　ハザードマップ 2 高潮の被害　ハザードマップ 3 中小河川等の氾濫

❷ 避難方法の確認

安全確保は浸水前の 早めの避難!!

浸水や降雨がなくても早めの避難を決断してください。雨が降っていなくても、多摩川の上流で大雨が降っている場合には急激に増水することがあります。

浸水してしまった状況での避難は 大変危険!

浸水した水は泥水のため、足元が見えず大変危険です。また、汚水や工場排水などが混ざり細菌や有害物質などが含まれている可能性があるため、人体に悪影響を及ぼす危険があります。

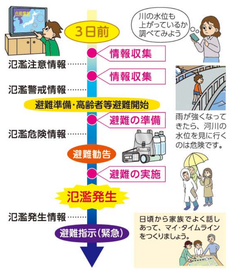
避難情報の種類

避難準備・高齢者等避難開始	●気象情報に注意を払い、避難の必要について考える。 ●避難が必要と判断する場合はその準備をする。 ●高齢者等避難に時間を要する区民は立ち退き避難を開始する。
避難勧告	●避難対象地域の区民は避難する。 ●避難に時間を要する区民は、避難を完了する。
避難指示（緊急）	●未だ避難していない人は、ただちに避難する。 ●立ち退き避難ができて危険な場合は、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動をとる。

風水害に備えて「マイ・タイムライン」を作りましょう!

◆マイ・タイムラインとは

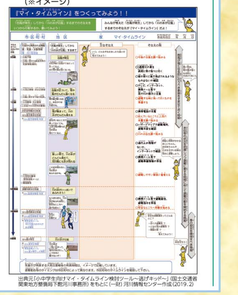
マイ・タイムライン（防災行動計画）とは、台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災計画です。



◆マイ・タイムラインでできること

●災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
●災害時の判断をサポート
※詳細は大田区ホームページをご覧ください。

（※イメージ）



出典元(小学生向けマイ・タイムラインづくり検討ゲーム)「(国土交通省関東地方整備局下館河川事務所)「水害に向けて(一財)日本気象協会 tenki.jp」

❸ 情報収集方法の確認

気象情報の収集方法

◆気象庁ホームページ
http://www.jma.go.jp/ jma/index.html
最新の気象情報や今後の推移などが確認できます。

主な情報
- ●気象警報・注意報 http://www.jma.go.jp/jp/warn/
- ●指定河川洪水予報 http://www.jma.go.jp/jp/flood/
- ●高解像度降水ナウキャスト http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/
- ●土砂災害警戒判定メッシュ情報 http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/

◆デジタル放送
天気予報や防災情報を、デジタル放送(dボタン)で確認できます。
雨の情報や警報などの発表状況、大田区が発信した避難勧告等の避難情報を文字情報として確認することができます。

テレビの場合
リモコンのdボタンを押すと、データ放送画面が表示されます。

携帯電話等の場合
ワンセグが使用できる場合、画面を縦にすると文字情報が表示されます。

雨の強さの目安

1時間雨量	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm以上
周囲の状況	ザーザーと降る。地面一面に水たまりができる。	どしゃ降り。傘をさしていても ぬれる。傘洋や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。下水管から雨水があふれる。	滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。車の運転は危険。マンホールから水が噴出する。	息苦しくなるような圧迫感がある。雨による大規模な災害が発生するおそれが強い。

河川等の情報の収集方法

水害

◆国土交通省「川の防災情報」
http://www.river.go.jp/
川の水位や雨量、洪水予報などが確認できます。

◆国土交通省 京浜河川事務所
http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/
多摩川の水位・雨量やライブ映像を公開しています。

◆東京都下水道局「東京アメッシュ」
http://tokyo-ame.jwa.or.jp/
数時間前から現在の降雨状況・降雨量を150mの表示メッシュで公開しています。

◆東京都水防災総合情報システム
http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/im/uryousui/tsim0103g_441102.html
香川の水位情報や雨量グラフなどを確認できます。

◆潮位観測情報(気象庁)
https://www.jma.go.jp/jp/choi/
潮位の実況や予測情報などを確認できます。

土砂災害

◆土砂災害(特別)警戒区域の指定について
https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/chiiki/bousai/sugai/keikai-kuiki_shitei.html
スマートフォン

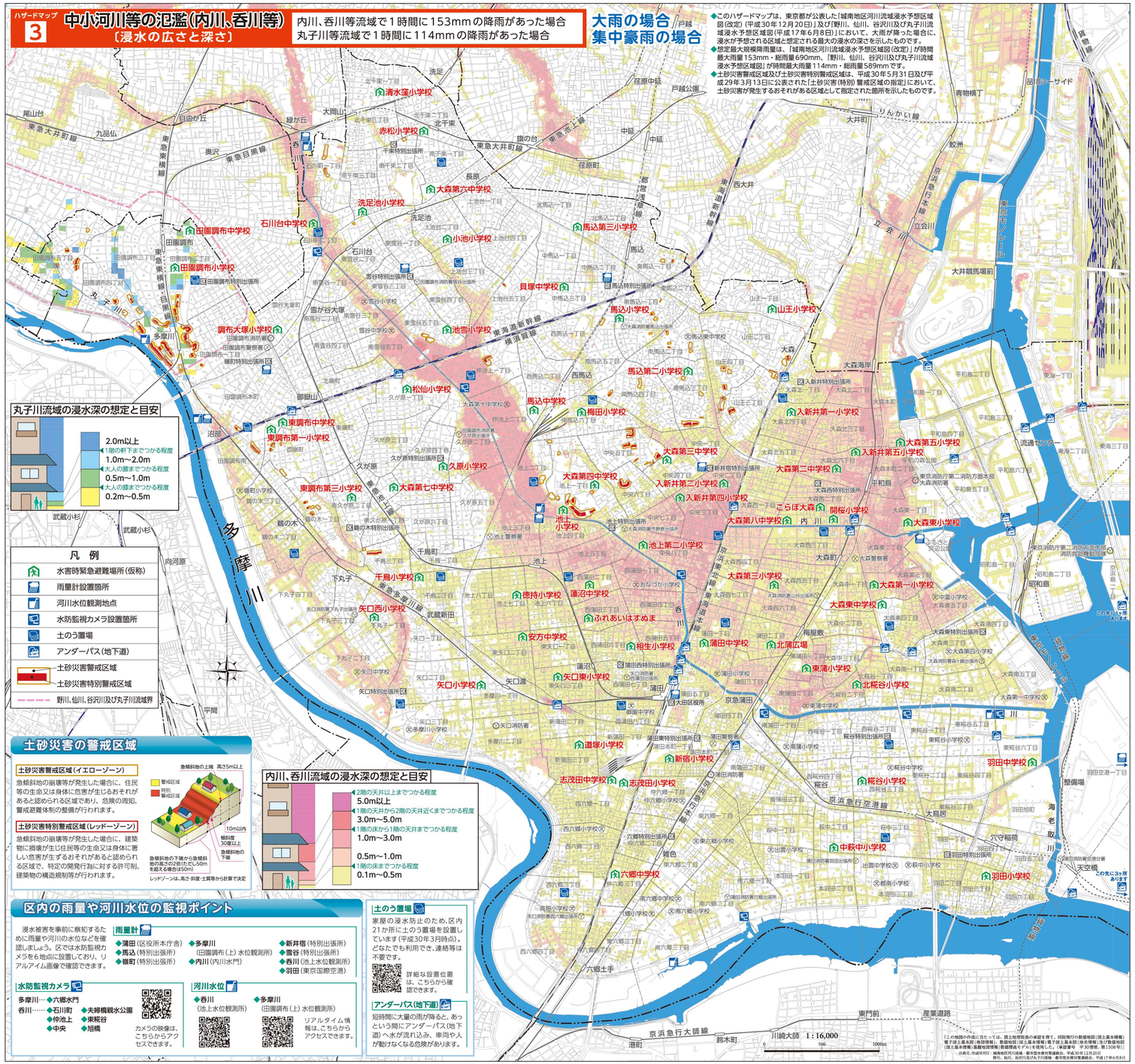
◆土砂災害警戒判定メッシュ情報(気象庁)
https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/
大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを確認できます。

◆土砂災害警戒情報(気象庁)
https://www.jma.go.jp/jp/dosha/

大田区からの情報の収集方法

※緊急情報は、エリアメール又は防災行政無線等で伝達します。(詳細は区ホームページをご覧ください)

◆大田区公式ホームページ
https://www.city.ota.tokyo.jp/
携帯電話　スマートフォン

◆区民安全・安心メール
http://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/chiiki/bousai/bouhan/anzenmail.html
あらかじめ登録されたメールアドレスに、防災や防犯に関する情報をメールで配信しています。

◆大田区公式ツイッター(Twitter)
@city_ota